

株主通信

第35 期中間事業報告書
平成12年3月1日～平成12年8月31日



(PDF版)

この株主通信(PDF版)は、ホームページ用にデザイン変更したものです。

エスフーズ株式会社



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご健勝のことと心よりお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り誠に有難く厚くお礼申し上げます。
さて、ここに当社第35 期中間期の営業の概況をご報告申し上げます。

平成12年10月



取締役社長 森島 征夫

8月1日、私たちは「エスフーズ株式会社」に生まれ変わりました。

消費者に信頼され支持されるブランドの体系化、事業領域の拡充と販売チャンネルの多様化、そして社員の参加意欲を高め、活力ある社風の確立。21世紀へ向けたこれらの取り組みを実現させるため、8月1日社名を「エスフーズ株式会社」に改めました。この新しいコーポレートブランドのもと全社一丸となって、より高い企業価値の創造に邁進してまいります。

おかげさまで、社名変更と同時に東証・大証一部に上場いたしました。

日本全国にはおよそ120万の株式会社があると言われておりますが、東証一部にはその約0.1%しか上場されておりません。8月1日、当社はこの希少な企業の一員となりました。一部上場企業の誇りと自信、自覚と責任をもって今後も食肉文化をリードし、世界に貢献してゆく所存であります。変わらぬご支援、ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

当中間期の営業の概況についてご報告いたします。

個人消費の低迷が続くなか、食品業界を取り巻く環境については、本年6月以降、消費者の信頼を失う諸問題が発生したことから市況は一段と厳しくなり、特に百貨店、スーパー等一般小売部門の売上は減少、停滞が続いております。一方、個人消費の傾向をみますと、価格の安いものでかつ消費者がその価値を認めたもの、特に「安全・安心」なものが求められるというより厳しい選択が進む傾向が続きました。

このような環境下、「強い会社」を目指す当社は、消費者のみなさまに安心していただける安定した品質の製品を提供できるように、西宮第二工場において国際品質規格「ISO9002」の認証を6月に取得いたしました。

営業面では、食肉需要の増大する外食及び総菜・弁当等の中食市場に焦点を当て、成長著しい焼肉レストランチェーンや焼肉総菜・焼肉弁当等の食品加工業を中心に、重点的に新規先開拓、拡販に努めました。

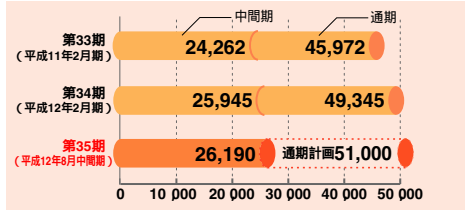
部門別の状況は、製品部門においては、加工調理食品・総菜の販売が好調で計画通り推移し、前年を上回りました。しかしながら、商品部門につきましては市場価格の下落により、売上高及び利益率が低減し、また棚卸評価の低価法による評価損を計上致しました。以上の結果、当社第35期中間期は、売上高261億9千万円、営業利益9億7千2百万円となりました。

当中間期の概況

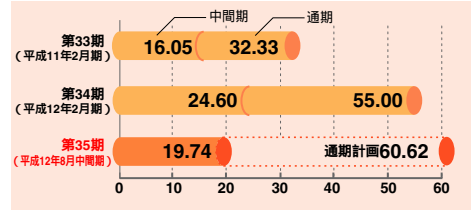
「エスフーズ」に生まれ変わって初の中間決算は、
売上高261億円となりました。

当社の営業成績および資産状況の推移

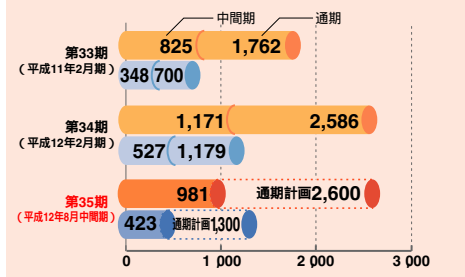
売上高 (単位: 百万円)



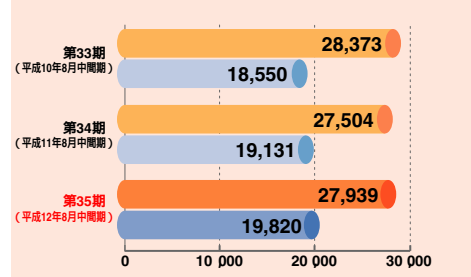
1株当たり当期(中間)利益 (単位: 円)



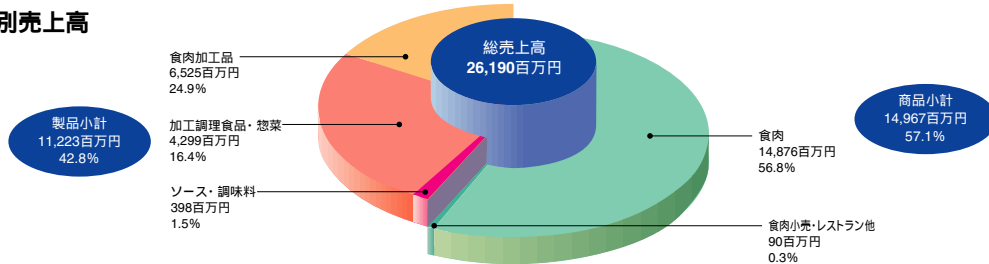
経常利益/当期(中間)利益 (単位: 百万円)



総資産/純資産 (単位: 百万円)



部門別売上高

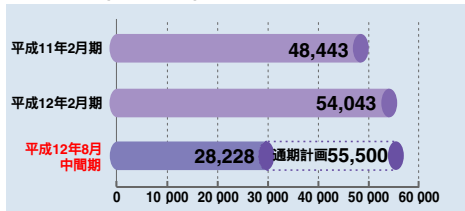


部門別売上高の金額は百万円未満切捨て、構成比は少数第2位切捨てにより表示しております。

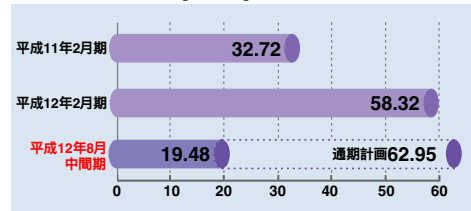
連結での営業成績および資産状況の推移

連結対象子会社: ミスタータミナ(株)、(株)ケンショク、FREMONT BEEF COMPANY

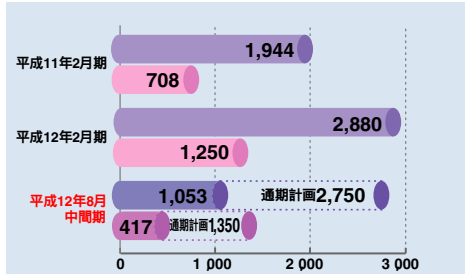
売上高 (単位: 百万円)



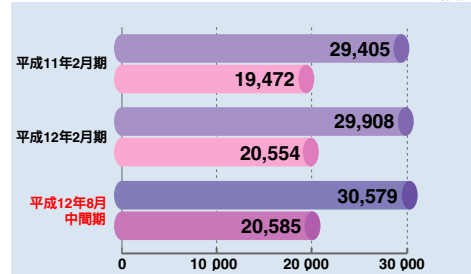
1株当たり当期(中間)利益 (単位: 円)



経常利益/当期(中間)利益 (単位: 百万円)



総資産/純資産 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フローの状況 (単位: 百万円)

科目	平成12年8月中間期
営業活動によるキャッシュ・フロー	135
投資活動によるキャッシュ・フロー	446
財務活動によるキャッシュ・フロー	134
現金および現金同等物の期末残高	1,493

営業活動によるキャッシュ・フローにおいて、夏場需要期による売掛債権が前期末に比べ10億83百万円増加したことにより資金が減少しました。

当中間連結会計期間は「中間連結財務諸表制度」の導入初年度であるため、前年同中間期との比較表示はしていません。

新製品「ネゴピー・牛塩ホルモン」の好調もあり、 厳しい環境下でも営業利益は9億7千万円となりました。

当社の貸借対照表および損益計算書

貸借対照表(要旨)

(単位: 百万円)

	当中間期 平成12年8月31日現在	前中間期 平成11年8月31日現在
資産の部		
流動資産	12,997	12,167
固定資産	14,941	15,337
資産合計	27,939	27,504
負債の部		
流動負債	7,663	8,158
固定負債	455	214
負債合計	8,118	8,373
資本の部		
資本金	4,226	4,226
資本準備金	4,171	4,171
利益準備金	540	500
剰余金	10,882	10,232
資本合計	19,820	19,131
負債・資本合計	27,939	27,504

流動資産

主な増加は、有価証券の取得増加によるものです。

流動負債

主な減少は、商品在庫調整を目的とした仕入れ抑制による買掛金の減少です。

損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)

	当中間期 自平成12年3月1日 至平成12年8月31日	前中間期 自平成11年3月1日 至平成11年8月31日
経常損益の部		
営業収益	26,190	25,945
営業費用	25,218	24,971
営業利益	972	973
営業外収益	155	244
営業外費用	146	46
経常利益	981	1,171
特別損益の部		
特別利益	1	—
特別損失	235	164
税引前中間(当期)利益	746	1,006
法人税、住民税及び事業税	388	457
中間(当期)利益	423	527
前期繰越利益	904	831
中間(当期)未処分利益	1,327	1,483

営業外費用

社名変更費用として122百万円を計上しています。

特別損失

役員退職慰労引当金の過年度発生額204百万円が含まれています。

要旨による表示の都合上、当社及び連結での損益計算書の「法人税、住民税及び事業税」以降に一部科目の省略があります。

連結での貸借対照表および損益計算書

連結対象子会社: ミスタースタミン(株)、(株)ケンショク、FREMONT BEEF COMPANY

貸借対照表(要旨)

(単位: 百万円)

	12年8月中間期 平成12年8月31日現在	11年8月中間期 平成11年8月31日現在
資産の部		
流動資産	14,638	—
固定資産	15,809	—
為替換算調整勘定	132	—
資産合計	30,579	—
負債の部		
流動負債	8,426	—
固定負債	950	—
負債合計	9,376	—
少数株主持分	617	—
資本の部		
資本金	4,226	—
資本準備金	4,171	—
連結剰余金	12,187	—
資本合計	20,585	—
負債、少数株主持分及び資本合計	30,579	—

流動資産

前期末に比べ、夏場(焼肉シーズン)需要期による売掛債権が増加しています。

固定負債

従来、支出時の費用として処理していた当社の役員退職慰労金を当中間期より引当金計上する方法に変更しました。これにより、過年度発生額を含め、役員退職慰労引当金を新たに計上しています。

損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)

	12年8月中間期 自平成12年3月1日 至平成12年8月31日	11年8月中間期 自平成11年3月1日 至平成11年8月31日
経常損益の部		
営業収益	28,228	—
営業費用	27,151	—
営業利益	1,077	—
営業外収益	138	—
営業外費用	162	—
経常利益	1,053	—
特別損益の部		
特別利益	1	—
特別損失	238	—
税引前中間(当期)利益	815	—
法人税、住民税及び事業税	424	—
中間(当期)利益	417	—

営業収益

所在地別セグメントにおける外部顧客に対する売上高の内訳は、日本278億7百万円、アメリカ合衆国4億2千万円となっています。

食肉事業を主領域に、21世紀へ向けた「強い会社」づくりを推し進めます。

「おいしさと健康を愛する魅力あるスタミナ食品をもって世界に貢献する。
我々は真のやりがいを感じ、企業の成長・発展とともに生活・文化の向上を図る。」
この社是の実現に向けて、今後も食肉事業を主領域と定め、
バラエティーミート「世界一」、焼肉「日本一」を特化戦略に掲げました。
この分野でのナンバーワンを目指して、どこにも負けない競争力を身につけるために
業容の拡大と活動を広げるべく企業体質の強化策に取り組んでまいります。

バラエティーミート「世界一」へ、 焼肉「日本一」へ。

コア・コンピタンス

当社グループ全体の特化戦略と位置づけ、成長する焼肉市場をはじめ、外食、持ち帰り弁当・総菜での食肉需要の増大に合わせた商品開発と市場開拓に注力。事業基盤の拡充を図るための社内分社化や企業買収、提携などの策を講じながら、この分野でのナンバーワンブランドの確立を目指します。生産面でも食肉文化をリードするにふさわしい安心の品質を実現するため、2001年上期までに国際品質規格「ISO9001」の認証を全工場にて取得いたします。

「コア・コンピタンス」とは、企業の中核となる能力をいいます。



決断をより速く、 行動をもっと速く。

スピード経営

当社の経験とノウハウを体系化し、グループ統一の価値・判断基準「エスフーズスタンダード」を構築。グループ各社の意志決定をよりスピーディに、より正確にしていきます。またグループ全社のコンピュータを「トータルグローバルシステム」で一元化。すべての情報を各社でリアルタイムに共有し、効率よく連携できる体制を築きます。



「人材」が「人財」へと 育つ環境へ。

インセンティブシステム

企業の大きな発展に欠かせない「人材」を企業価値を創造する「人財」へと育て、社内の活性化を図ります。実力主義をベースにした人事制度やインセンティブシステム(報奨制度)を運用し、社員ひとりひとりが自発的に行動する環境と活力ある社風を築き上げます。



株主のみなさまからのご指導、ご要望を礎に「革新と創造」を進めます。

前期「株主通信」のアンケートにご協力をいただき誠に有難うございました。みなさまからの率直なご意見を礎に、今後も改革に取り組んでまいります。また、株主のみなさまとの大切なコミュニケーションの場として、この「株主通信」もさらに充実させていきたいと考えております。

— アンケートでお寄せいただいた経営諸策に対するご質問に、この場をお借りしてお答えします。 —

Q.1 「スタミナ食品」は親しみの持てるいい社名だったと思いますが、なぜ変更したのですか？

A.1 前期にもご報告した通り、より高い企業価値を創造するための戦略の一環です。



社名変更を機に、ブランドイメージの再構築や事業領域の拡充、活力ある社風づくりを推進。より「強い会社」を目指しています。

Q.2 業績の割には株価が低迷しているように思います。IR活動が不足しているのでは？

A.2 今まで以上に当社をご理解いただけるよう、様々な広報活動に力を注いでいます。

決算説明会の充実やホームページでの財務状況の紹介、「株主通信」の改善などを実施。株主のみなさま、投資家のみなさまに当社をより深くご理解していただくよう、努力を重ねています。

Q.3 株価はもちろん配当もやっぱり気になります。利益分配の方針について教えてください。

A.3 下限普通配当12円、配当性向30%を目標に業績に応じた配当を実施しています。

当社では株主のみなさまへの利益分配を重要な政策と位置づけており、安定的、継続的な配当を実施しています。今後もより多くの利益分配が行えるよう、企業価値の向上に努めてまいります。

Q.4 衛生面や品質管理への取り組みについて詳しく知りたいのですが。

A.4 西宮第二工場で、国際品質規格「ISO9002」の認証を取得しました。



前期の経営戦略でご報告致しました通り、西宮第二工場で国際品質規格「ISO9002」の認証を今年6月に取得。来年度上期には、さらに「ISO9001」の認証を全工場取得します。

Q.5 「こてっちゃん」以外の製品の販売状況はどうなっていますか？

A.5 新製品「ネゴビー・牛塩ホルモン」が東日本を中心に好調な売れ行きです。



塩ホルモンの激戦区、東日本でネゴビーマンの豊かな風味がうけています。今後も「新しいおいしさをより安く、よりお手軽に」を基本に新製品を開発します。

Q.6 健康食品や栄養補助食品分野への進出は考えていないんですか？

A.6 食肉の豊富な知識とノウハウを活かして、健康食品「コラーゲンマトリックス」を開発しました。



「おいしさと健康を愛する」当社の新しい事業展開として発売。食肉事業を主領域にしながら、今後も畜産資源を活かした健康食品の開発を進めていきます。

Q.7 ホームページをもっと強化した方がいいと思いますが、その予定はありますか？

A.7 社名変更と同時にホームページを一新。販促キャンペーンサイトも新たに開設しました。



当社の活動内容を楽しみご覧ください。商品はもちろん、IRやリクルートの最新情報なども充実。今後のバージョンアップにもご期待ください。

<http://www.sfoods.co.jp/>
<http://www.s-foods.com/>(キャンペーン用)



Q.8 中期の経営計画や見通しについても教えてください。

A.8 平成15年2月期には売上高570億円、純利益は19億21百万円を見込んでいます。

焼肉レストランなどの外食市場、焼肉総菜や焼肉弁当などの中食市場の開発を強化。さらなる焼肉文化の普及に努め、目標額の達成とシェアアップを図ります。

元・気・N・E・W・S



「エスフーズ印」の販促活動、 いままで以上にパワーアップ!

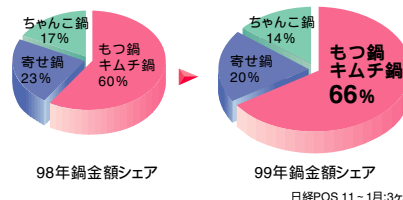


なんと応募総数約 75,000通。
「こてっちゃん」キャッシュバックキャンペーンで
新社名の認知度は、一気に上昇。

「社名変更・新ブランド誕生記念」として企画した一大イベント、「こてっちゃん」5,000円キャッシュバックキャンペーンに大反響がありました。7月20日スタート、9月5日締め切りまでの約一ヶ月半の間に、予想をグンと上回る応募総数75,687通を達成。テレビ、新聞、店頭を連動させた短期集中型の広告戦略で、早くもたくさんの人に「エスフーズ」ブランドを覚えていただくことができました。

これからの冷え込むシーズンを狙い打ち。
「牛もつ鍋/キムチ鍋」の
強力キャンペーンもいよいよスタート。

年々人気が高まって、今や鍋料理の主役になったもつ鍋・キムチ鍋。この大ブームをずっとリードしてきた「こてっちゃん/牛もつ鍋」「こてっちゃん/キムチ鍋」を、今年も新バージョンのテレビCM・店頭広告で強力にアピール。気温は下がっても、売り上げの上昇は間違いなしです。



新規事業をスタートさせて、 健康食品もラインアップ!

どんどん高まる健康志向をしっかりとキャッチ。
「エスフーズ」グループの健康食品分野を担う
すこやか食品(株)がいよいよ本格稼働。

当社61%、三井物産(株)39%の出資によって、今年5月からすこやか食品(株)が本格稼働。新規事業をスタートさせました。60歳台、50歳台にさしかかり、健康面に課題を抱えるいわゆる「団塊の世代」をメインターゲットに、独自性の高い健康食品を提案。「国民の健康増進に寄与し社会に貢献する」を理念に、ビタミン、ミネラル、動植物などを原料とした栄養補助食品の開発・製造・販売を行います。

「すこやか食品」がお届けしたい3つの健康

関節や骨を
丈夫に

血管を
しなやかに

若さを
いつまでも

話題のコラーゲンパワーを手軽に吸収。
健康食品「コラーゲンマトリックス」



「エスフーズ」ならではの豊富な畜産資源と食肉のノウハウを活かした栄養補助食品。美容と健康に欠かせない要素として注目されているコラーゲンなどを、手軽に吸収できる錠剤にしています。

エスフーズ会社概要

役員 取締役社長 森島 征夫 取締役副社長 永坂 峰一 常務取締役 中山 稔 常務取締役 田中 基裕 常務取締役 朝永 直樹 取締役 青島 貴世雄 取締役 旦 有孝 取締役 森島 征司 常勤監査役 大広 雄二郎 監査役 小西 英雄 監査役 大野 眞 監査役 古賀 剛一	従業員数 397名 (男330名・女67名、平成12年8月末現在) 年間売上高 493億円(平成12年2月期実績) 事業内容 食肉類の加工販売 食肉加工品の製造及び販売 ソース、調味料の製造及び販売 系列会社 ミスタースタミナ株式会社 株式会社味兆 株式会社ケンショク すこやか食品株式会社 FREMONT BEEF COMPANY STAMINA FOODS AMERICA INC.	事業所 本社 〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13 TEL.0798-43-1065(代表) 東京本社 〒273-0014 千葉県船橋市高瀬町24番38 TEL.047-435-0811 (代表) 支店 名古屋、九州 営業所 札幌、仙台、茨城、船橋、大宮、八王子、横浜、長野、岡崎、東海西、京都、西宮、りんくう、和歌山、姫路、岡山、広島 工場 西宮、西宮第二、船橋、船橋第二
設立 昭和42年5月22日 資本金 42億2,664万円(平成12年8月末現在)		

グループ企業

連結子会社 ミスタースタミナ株式会社 (主な事業: 食肉の小売) 兵庫県尼崎市武庫川町1-4-6 代表者: 社長 戸次 充 設立: 1977年3月 資本金: 8,000万円 持株比率: 100% 株主資本: 480,653千円 売上高: 1,407,238千円 当期利益: 8,255千円 (平成12年8月中間期)	株式会社ケンショク (主な事業: 食肉の加工等) 静岡県静岡市中吉田8-23 代表者: 社長 岩淵 文雄 設立: 1963年8月 資本金: 6,800万円 持株比率: 100% 株主資本: 295,756千円 売上高: 977,761千円 当期損失: 4,758千円 (平成12年8月中間期) <small>平成12年8月静岡県食肉卸株式会社から商号変更</small>	FREMONT BEEF COMPANY (主な事業: 食肉の加工等) 米国ネブラスカ州 代表者: 社長 野村 康平 設立: 1989年4月 資本金: US\$1,000 (この他に払込剰余金US\$5,999,000) 持株比率: 55% 株主資本: 1,383,196千円 売上高: 4,108,389千円 当期利益: 46,682千円 (平成12年6月中間期)
非連結子会社 株式会社味兆 (主な事業: 食肉の加工等) 兵庫県尼崎市武庫川町1-4-6 代表者: 社長 永坂 峰一 設立: 1977年10月 資本金: 1,000万円 持株比率: 100% 株主資本: 39,909千円 売上高: 39,759千円 当期損失: 3,494千円 (平成12年8月中間期) <small>作業場改築のため平成12年5月まで休業</small>	すこやか食品株式会社 (主な事業: 健康食品の販売) 兵庫県西宮市鳴尾浜1-16-11 代表者: 社長 深山 光男 設立: 1997年3月 資本金: 4,000万円 持株比率: 61% 株主資本: 44,084千円 売上高: 16,836千円 当期利益: 5,137千円 (平成12年8月中間期) <small>平成12年5月神戸マチン株式会社から商号変更、事業本格稼働</small>	STAMINA FOODS AMERICA INC. 米国デラウェア州 (主な事業: 食肉製造販売) 代表者: 社長 深山 光男 設立: 1996年7月 資本金: US\$1,000,000 持株比率: 60% 株主資本: 125,952千円 売上高: 197,537千円 当期利益: 1,644千円 (平成12年6月中間期)

非連結子会社3社はいずれも小規模会社であり、中間連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないため連結から除いております。

株式の状況

発行する株式の総数	発行済株式の総数	株主数
76,500,000株	21,446,659株	2,639名(前期末比178名減少)

大株主

株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社ファイブエム	7,220,087	33.66	-	-
森島 征夫	1,328,908	6.19	-	-
伊藤ハム株式会社	838,888	3.91	441,525	0.20
丸紅株式会社	832,550	3.88	445,000	0.0
三井物産株式会社	705,830	3.29	140,600	0.0
株式会社三和銀行	610,790	2.84	42,934	0.0
株式会社さくら銀行	610,790	2.84	51,334	0.0
株式会社マイカルファイナンス	500,000	2.33	-	-
エスフーズ従業員持株会	367,600	1.71	-	-
シンボ株式会社	331,000	1.54	25,000	0.61

株価の推移と株式の売買高

東証・週足データ

株価の推移

